

中井 智彦 Nakai Tomohiko 【表現者・歌手・俳優】

1983年9月2日生まれ。神奈川県出身。東京藝術大学卒。卒業時に同声会賞を受賞。2007年ミュージカル「レ・ミゼラブル」でデビュー。2010年から5年間、劇団四季に所属。「美女と野獣」(野獣役)と「オペラ座の怪人」(ラウル役)はそれぞれ約500ステージをつとめる。図書館で偶然手にした「中原中也全集」に深く感銘を受け、中也の詩にメロディをつけた楽曲の制作を始める。劇団四季退団後に、中原中也の感じた藝術を表現者として形にしようと、本格的に舞台の創作を開始。2016年7月に企画・構成・作曲・演出を自ら手がけた独り舞台「詩人・中原中也の世界～在りし日の歌～」を発表。この舞台の創作に際し、中原中也記念館(山口県湯田温泉)で貴重な資料の閲覧や中原豊氏へお話しを伺うなど、多大なご協力をいただく。2017年には「山口きずな音楽祭VOL.9」(山口市市民会館大ホール)に出演。中原中也生誕110年を記念したこのイベントでは、独り舞台「詩人・中原中也の世界～在りし日の歌～」から「サーカス」「幻影」など4編の詩をダンサーの米島史子とともに披露した。艶のあるバリトンボイスを持ち味に、圧倒的な表現力と歌唱力で活動を展開。現在は、ミュージカル・舞台に加え、自主企画ライブや歌手活動、CDリリースも精力的に行う。2016年「サラ・ブライトマン ジャパンツアー」にバックコーラスとして参加。2019年ミュージカル「レ・ミゼラブル」全国ツアー公演出演。J-WAVE(81.3FM)「STAGE PIA WE/LIVE/MUSICAL」ナビゲーター(毎週金曜 22:30～23:00)/演劇・舞台情報フリーペーパー「ステージぴあ」コラム「ミュージカルのススメ!」連載中。
<https://www.nakaitomohiko.jp>

米島 史子 Yoneshima Fumiko 【ダンサー】

1989年10月22日生まれ。早稲田大学文化構想学部卒業。ドラスティックダンス“O”所属。主な出演作:ドラスティックダンス“O”公演「裂け目と平和」(振付:前田清実)『パジャマゲーム』(制作:梅田芸術劇場 演出:トム・サザーランド)『バイオハザード』(制作:梅田芸術劇場 演出:G2)『SHIRANAMI』(制作:フジテレビ 演出:G2) 洗足学園音楽大学、ミュージカル・アカデミー、渡辺ミュージカル芸術学院にてダンス講師も務める。



長濱 司 Nagahama Tsukasa 【ピアノ】

1994年 北海道生まれ。4歳より電子オルガン、9歳よりピアノを始め、その後様々な音楽と触れ合う。2012年、国立音楽大学音楽学部演奏学科ジャズ専修(ピアノ)2期生として入学。大学在学中ポップスやオーケストラの作編曲にも興味を持ちはじめ、演奏も作編曲もできる音楽家になることを目指すようになる。2016年に大学を卒業後、現在は、ライブのピアノサポートやミュージカルの稽古・本番ピアノ演奏、J-POPを中心に様々なジャンルの楽曲制作などの活動も行っている。
<https://www.tsukasanagahama.com>



ともしび 歌の灯火 2019.10.22 tue 祝

[お食事あります]

ISO'S BAR 山口市湯田温泉4丁目2-27 TEL 083-921-4588

昼の部 お食事開始 12:00 / 公演 13:00～15:00
夜の部 お食事開始 17:00 / 公演 18:00～20:00 ※入替制

【出演】中井 智彦、米島 史子、長濱 司 [衣装協力] 佐藤 茜

【一部】「詩人・中原中也の世界～在りし日の歌～(創作舞台)」
【二部】歌の灯火(ライブ)

【チケット】 全席自由席 [整理番号付]
昼の部/夜の部 7,000円
[別途、お食事代3,000円は会場でお支払いとなります]

【発売日】 8月3日(土) 10:00～

【プレイガイド】 山口きずな音楽祭プロジェクト / 中原中也記念館 / ISO'S BAR / 山口情報芸術センター
チケットぴあ(Pコード:160-791) TEL 0570-02-9999

【お問い合わせ】 山口きずな音楽祭プロジェクト
TEL 083-929-3947 info@kizunaxkizuna.com
ISO'S BAR
TEL 083-921-4588(18:00～)

詳しくは公式サイトへ
<http://www.kizunaxkizuna.com/>



亀渕 友香 Kamebuchi Yuka 【日本のゴスペルシンガーの第一人者】

1993年日本を代表するゴスペルグループThe Voices of Japan(VOJA)発足。2008年「第1回 野口英世アフリカ賞」の授賞式および記念晩餐会にて、天皇皇后両陛下や歴代総理大臣、アフリカ各国の大統領や国王といった国賓の前で演奏。2009年より8年連続で、山口きずな音楽祭に出演し、楽曲「きずな」を山口クリスマス市に広める。2017年10月22日逝去。



中原 中也 Nakahara Chūya 【詩人】

1907年4月29日、山口市湯田温泉生まれ。小学校高学年より短歌を制作。文学に熱中するあまり山口中学校を落第し、京都の立命館中学へ転校。ダダイズムの詩を書き始め、富永太郎からフランス象徴詩を学ぶ。1925年に上京し、小林秀雄、河上徹太郎、大岡昇平らと交流しながら、詩や翻訳・評論を発表。生前の著作に第一詩集『山羊の歌』(1934年)の他、ランボオの翻訳詩集3冊がある。1937年10月22日、鎌倉で死去。享年30歳。翌年、友人たちの手で第二詩集『在りし日の歌』が刊行された。

